



49:22 ヨセフは実を結ぶ若枝、泉のほとりの、実を結ぶ若枝。その枝は垣を越える。  
 49:23 弓を射る者は激しく彼を攻め、彼を射て苦しめた。  
 49:24 しかし、彼の弓はいつも固く張られ、彼の腕はすばやい。ヤコブの力強き方の手から、そこから、イスラエルの岩である牧者が出る。  
 49:25 おまえを助ける、おまえの父の神によって、おまえを祝福する全能者によって、上よりの天の祝福、下に横たわる大水の祝福、乳房と胎の祝福があるように。  
 49:26 おまえの父の祝福は、私の親たちの祝福にまさり、永遠の丘の極みにまで及ぶ。これらがヨセフの頭の上に、兄弟たちの中から選り抜かれた者の頭の頂にあるように。  
 49:27 ベニヤミンは、かみ裂く狼。朝には獲物を食らい、夕には略奪したものを分ける。」  
 49:28 これらはすべてイスラエルの部族で、十二であった。これは、彼らの父が彼らに語ったことである。彼らを祝福したとき、それぞれにふさわしい祝福を与えたのであった。  
 49:29 また、ヤコブは彼らに命じた。「私は、私の民に加えられようとしている。私をヒッタイト人エフロン畑地にある洞穴に、先祖たちとともに葬ってくれ。  
 49:30 その洞穴は、カナンの地のマムレに面したマクベラの畑地にあり、アブラハムがヒッタイト人エフロンから、私有の墓地とするために、畑地とともに買い取った洞穴だ。  
 49:31 そこにはアブラハムと妻サラが葬られ、そこにイサクと妻リベカも葬られ、そこに私

はレアを葬った。

49:32 その畑地とそこにある洞穴は、ヒッタイト人たちから買ったものだ。」

49:33 ヤコブは息子たちに命じ終えると、足を床の中に入れ、息絶えて、自分の民に加えられた。

やはりヤコブのヨセフに対する愛情は特別なようです。死んだと思ったのに再開でき、兄たちを救すだけでなく、自分たち家族をききんから救ったのですから、それは当然でしょう。主は父ヤコブのそのような思いを用いられて、特別な預言を与えました。すなわちキリストを表す預言です。

ここには激しく攻められるられること、全能者によって助けられること、永遠の祝福に至ることが表されています。まさに十字架の責め、主による復活の勝利、永遠の栄光を思わせるものです。ユダ族のように、系図という目に見えるものから王がそして救い主が誕生することもすばらしいことです。しかしヨセフのように、苦難を通ってもその信仰によって、救い主を自らが表すようになることはもっとすばらしいことです。

ヤコブは先祖たちをともに葬られることを願いました。かつてはリベカばかりを愛していましたが、今はそれだけでなくレアも含めて先祖とともに葬られたい、すなわち自分が生きた証しとして神に導かれたことを明らかにしたいのです。自分の人生を通して最終的に何を遺したいのか…それを考える必要があります。それが明確であることと現在を意義ある毎日とすることは、一体です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

